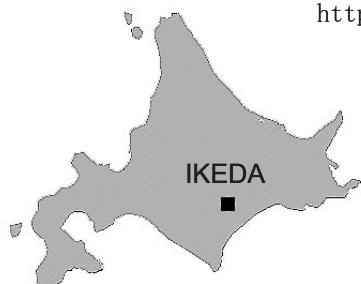


No.44 2009, Nov.

11 月・秋・大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

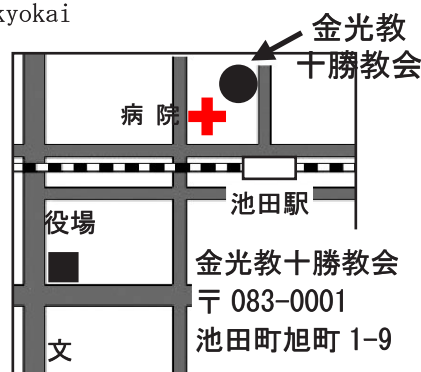


☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 44



当初、教祖様と「金神」の関係は、崇り神と人間との関係にすぎませんでした。教祖様は持ち前の実意丁寧な仕事柄で農家として経済的にも社会的にも成功していきます。しかし、それとは裏腹に住宅や納屋などを建築するたびに家族や飼う牛が次々亡くなっていく。当十月二十一日お知らせ。麦まきしまい安心いたし。色紙五枚買い、五色の幣切りあげ。この幣を切り境に肥灰（農業）さしとめに相成り候。おいおい家業をやめと仰せつけられ候。

（安政六年十月二十一日「お知らせ事覚帳」）

教祖金光大神様は、江戸時代末期に今の岡山県浅口市金光町に生まれた一農民でした。その教祖様が当時「金神」と呼ばれていた神様と出会ったことで金光教の歴史が始まったのです。

立教百五十年・生神金光大神大祭を迎えて

金光教十勝教会



写真 - 立教聖場

教祖様時代のお広前を復元したもの

きます。ついには、数え年で四十二歳の春、自らも病によって死を覚悟するほどの状況に陥ります。そのとき、これら不幸は全て「金神」と呼ばれた神に対する無礼によるものであるという

ことが、「神」自身から告げられました。当時「金神」は崇りのある方位神^{ほういじん}として知られており、岡山地方では建築や作事を行うたびに日柄方角を占ってもらい、金神をはじめ方位神に無礼の無いようにするのが当たり前でした。教祖様も当然、建築に際しては金神に無礼の無いよう日柄方位を占ってもらっていました。しかし、結局それは人間が勝手に神の都合を判断して、良いように行動しているにすぎなかったのです。つまり、神からすれば日柄方位を占うことさえ筋違いであつたのです。教祖様もそういう人間の一人でしたが、この大病の際に、いかに自分が神の意志・道理を知らずに振る舞ってきたかを悟られ、実意丁寧をもつて神へ詫びられています。

以後、教祖様と金神の関わりは深くなり、金神の信頼を得た教祖様は「下葉^{したば}の氏子^し」と重用され、さらには「金神一乃弟子^{いちのでし}」と呼ば

れるように、単なる神と信奉者の関係からより一段と進んだ関係へとなっていました。

そして、ついに今から百五十年前の安政六年十月二十一日（新暦十一月十五日）、神様から「農業を止めて、神前で神の取次に専念するように」というお知らせをいただかれ、農業をやめ、自宅で取次に専念されることとなったのです。これは、教祖様にとつては、それまでの「崇りに怯え、神に願う」人間の立場から、「神の手助けとして人を助ける」立場になるという自身の立場の大逆転です。さらに、人が神に使われる、人が神の働きを現すという「生神」（神の働きが生まれる）金光大神取次が始まったという宗教上のターニングポイントであつたともいえます。

さらに明治時代となり、教祖様と金神の関わりが進むにつれ、金神という神が実は「天地金乃神」

という天地の大親神であることが明らかになります。さらに教祖様も「生神金光大神」との御神名を受けられ、神を助け、人を助ける神からの差し向けであることがはつきりしました。そして教祖様の取次を受けた人々の中から、各地に次々と広前が生まれ、百五十年たった今も、神の働きを現す「生神金光大神取次」は歴代金光様をはじめ世界中の広前に受け継がれています。

教祖様は様々な苦難、試練に会われ神様に使われることを悟り、神様の働きを現してきました。確かに我々は教祖様のようにはなれないかもしれませんが、しかし今、我々は教祖様の残された信心をもとに、「神様に使われることを願う」ことができます。自らを身代わりとして信心を残してくれた教祖様への御礼を申し上げ、ひとりひとりが信心を進め神様の働きを現していきましょう。

教会 日 誌

平成21年8月1日から

8月7日 北海道教区青少年の集い「150KI
TA・夏の大作戦!」、東川町キトウ
シ森林公園、7名参加。9日まで。



↑毎年恒例の「流しそうめん」も
今年は3レーン化。



写真「150KI TA・夏の大作戦!」

毎夏恒例の青少年少女キャンプですが、今年は立教
百五十年という年を記念して、青年から子供たちま
で楽しめるイベントとして開催され五十人以上の
参加者がありました。

8月16日 教会創立記念祭・布教功労者報徳祭執
行。(下段に写真)



写真 - 教会創立記念祭・布教功労者報徳祭
今年で教会創立 89 年を迎えました。

8月22日

道東地区教会連合会・青年家族交流会、
北見市山のうえ展望広場、横畠農場、
6名参加。23日まで。(次頁に写真)

9月3日

釧路市、I家式年霊祭。

9月10日

金光家先祖祭、金光山神大道立別命
九十年祭、みよ子先生参拝。

9月11日

士幌町、T家例年霊祭。

9月12日

本別町、I家葬儀式。13日まで。

9月19日

本別町、I家旬日祭。



写真・道東地区・青年家族交流会

毎夏行っている道東地区の青年家族交流会ですが、今年では北見市を会場に開催されました。22日夜はキャンプ場で懇親会、23日は横畠さんの農場に移動して芋掘りをさせていただきました。

9月23日 秋季霊祭執行。(下段に写真)

9月26日 帯広市、M家感謝祭・例年霊祭。

9月26日 青年教師会研修会、名寄市、みよ子先生出席。

9月27日 滝上教会生神金光大神大祭・金光団体入植百年記念祭、衛先生家族参拝、吉



写真 - 秋季霊祭

祭典後は恒例の「おはぎ」でお直会。

備舞奉納。(次頁に写真)

10月3日 立教百五十年本部生神金光大神大祭・

団体参拝、27名参加、6日まで。(次頁に写真)

10月4日 釧路市、S家葬儀式。5日まで。

10月7日 大空町、A家(網走教会)葬儀式。8

日まで、千鶴子先生、衛先生祭員御用。

10月10日 訓子府町、S家式年霊祭。

→ 滝上町役場にある岡本政道先生の胸像



写真・滝上教会

入植百年記念祭

明治42年、岡本政道氏に率いられた金光開拓団が岡山から滝上に入植して今年で百年になります。岡本氏は開拓に尽力されただけではなく、戦後は同町長を長期間務められ、同町の発展に力を尽くし、退職後は滝上教会の初代教会長として御用をされました。



↑ 滝上町にある「金光橋」。北海道に「金光」がつく地名や橋など滝上以外にはない。

10月18日 陸別町、I 家式年霊祭。

10月18日 釧路教会生神金光大神大祭、交流参拝。

今年、立教百五十年のお年に当たり、本部では秋の生神金光大神大祭に併せて立教百五十年記念大祭が仕えられました。全国から奉祝の団体参拝が行われ、十勝教会からは20代から90才まで27名の参拝者がありました。10月4日の大祭に参拝した後は、水木しげるロード、足立美術館、石見銀山、出雲大社などを巡る観光旅行を楽しみました。

写真・立教百五十年本部大祭団体参拝



→ 出雲大社にて
↑ 本部会堂にて



10月23日 土幌町、M家式年霊祭。

10月23日 土幌町、T家式年霊祭。

10月24日 帯広市、I家墓前霊祭。

10月25日 網走教会生神金光大神大祭、衛先生教話御用。

10月27日 道東地区教会連合会役員会、北見教会、衛先生出席。

11月3日 北見教会生神金光大神大祭、交流参拝。

11月3日 夕張教会生神金光大神大祭、衛先生祭主、教話御用。

11月8日 帯広教会生神金光大神大祭、みよ子先生教話御用。

11月13日 函館教会生神金光大神大祭、衛先生参列。

11月15日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。

(下段と次頁に写真)

写真・大祭前大掃除
教会内外の清掃のほか、境内の雪囲いも行いました。





十勝教会これからの行事予定

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ○薫別講社生神金光大神大祭 | 12 月 5 日 (土) 午前 11 時 |
| ○越年感謝祭 | 12 月 31 日 (木) 午後 1 時 30 分 |
| ○平成 22 年元日祭 | 1 月 1 日 (金) 午後 1 時 30 分 |
| ○平成 22 年信徒総会・新年会 | 2 月 11 日 (祝) 午前 11 時 |

金光教宣言

大いなる天地に生かされる人間として
すべてのいのちを認め尊び
神と人、人と人、人と万物が
あいよかけよで共に生きる世界を実現する

信徒会に入りませんか

信徒会は教会在籍の信奉者で作る信心研鑽と交流、教会維持のための会です。総会や懇親会、境内清掃奉仕や町内のゴミ拾いなどの活動を行っています。

- ・年会費 4,800 円 (1 口、月額 400 円)
- ・信徒会受付 (大祭時) もしくは教会までお申込みください。

- 先 祭員着席
- 次 拝 礼
- 次 神徳賛詞奉唱
- 次 取次唱詞奉唱
- 次 祭主祭詞奏上
- 次 祭主玉串奉奠
- 次 天地書附奉体
- 次 参拝者代表玉串奉奠
- 次 金光大神賛仰詞奉唱
- 次 親神のよごしのままに斉唱
- 次 立教百五十年御礼祈願詞
- 次 拝 礼
- 次 祭員退下
- 次 吉備舞奉納
- 次 「紅葉葉」玉置るみ・さくら
- 次 立教神伝奉誦
- 次 立教百五十年記念アニメ
- 次 「金光さま」鑑賞（35分）

あいよかけよの生活運動

わが心の神に目ざめ
祈り、対話行動をもって
神を現す生活をすめ
共に助かる世界を生みだそう



KONKOKYO
金光教

♪親神のよごしのままに♪

一、親神のわが生神
よごしのままに
金光大神
取次の道立ちしより
代々を経て
神からも
氏子からも
恩人なりと
のらし給える
讃えまつらん
三、神のひれ
木綿崎山に
日の光なす
道の靈光を
取次の照り映えて
とこしえに
仰ぎまつらん

食 後 訓

食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ
食 前 訓
体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり